

# まほろば秦野通信

平成 27 年 1 月 28 日

タイトル	<b>県内の市で初</b> <b>「ESCO 事業」で市内の全防犯灯の LED 化が完了</b>
When (いつ)	ESCO 事業の契約を締結し、市内にある防犯灯 1 万 2926 灯全てを、LED 化する（県内の市では、初。町では、湯河原町、寒川町、開成町が改修済み）とともに、主に電気代など 10 年間で約 2 億円のコスト削減につなげました。 削減できた年間約 2000 万円の予算は、防犯カメラの増設など、新たな防犯対策の充実に充てられるようになります。
Where (どこで)	
Who (だれが)	
What (なにを)	<b>【効果】</b> ◇省エネ性能により、年間電気代が約半分に 25 年度：約 4212 万円→27 年度見込み：約 2358 万円 ◇長寿命性能により維持管理の負担が軽減 2 年に 1 回の修繕→10 年に 1 回程度に 定期点検（自治会）も 2 カ月→4 カ月に 1 回程度に ◇環境負荷軽減 CO2 排出量：591t-CO2/千 kwh→257t-CO2/千 kwh （東京ドーム約 73 個分の面積の植樹に相当） ◇夜道がより安全に 照度が高くなり、歩道がより明るくなります
How (どのように)	昨年 7 月にプロポーザル方式で事業者を選定し、市防犯協会（事務局：市くらし安全課）が、「日本ファシリティ・ソリューション(株)」、「三菱 UFJ リース(株)」の 2 社と、省エネルギーに関する包括的なサービスを事業者が提供する「ESCO 事業」の契約を締結。 ◇ESCO (Energy Service Company) 事業について 事業者は、市防犯協会からの委託料を受け取り、既存の防犯灯の調査や LED 防犯灯の設計、施工のほか、導入した設備の保守や運転管理、消費電力の測定などを行います（提案通りの光熱費が削減できないときは、その分を事業者が保証）。
Why (なぜ)	防犯灯の修繕料や電気代が年々増加していたことに加え、日常的な管理をお願いしている各自治会や市民から、「暗い」「向きを変えてほしい」などの要望も増えていたため。
契約について	◇契約内容 1. 1 万 2122 灯の LED 防犯灯への付け替えと全防犯灯（既に LED 化していた 804 灯を含む）の維持管理 2. 防犯灯デジタルマッピングシステムの構築 3. 防犯灯プレートの付け替え 4. 年間 50 灯程度の防犯灯の新設工事と維持管理（点検・移設・交換）など 5. その他、現場調査や省エネ検証など

	<p>◇工事期間：平成 26 年 10 月 31 日～平成 27 年 1 月 27 日</p> <p>◇維持管理契約：4 月 1 日～平成 37 年 3 月 31 日（10 年間）</p> <p>◇契約金額：3236 万 7816 円／年</p>
今後の取り組み	<p>今回の ESCO 事業の一環として、全防犯灯の配置を一括管理する「デジタルマッピングシステム」を導入し、今後の維持管理の更なる効率化を目指します。</p>
問い合わせ	<p>くらし安心部くらし安全課危機管理対策班 担当：長島</p> <p>電話 0463（82）9625</p>